

**IBM SPSS Modeler Server  
Deployment Adapter のインス  
トール**

**IBM**



---

## 目次

### IBM SPSS Modeler Server Adapter の インストール . . . . . 1

|  |   |
|--|---|
| IBM SPSS Modeler Server Adapter のインストールの<br>概要 . . . . . | 1 |
| システム要件 . . . . .   | 1 |
| インストール・ファイル . . . . .                                    | 1 |
| Installation Manager の使用開始 . . . . .                     | 2 |
| リポジトリの設定 . . . . .                                       | 3 |
| Passport Advantage の設定 . . . . .                         | 5 |

|   |    |
|---|----|
| IBM SPSS Modeler Adapter のインストール . . . . .  | 6  |
| ウィザード・モードでのインストール . . . . .   | 7  |
| コンソール・モードでのインストール . . . . .   | 9  |
| 応答ファイルを使用したサイレント・インストー<br>ル . . . . .   | 11 |
| Linux での IBM SPSS Collaboration and Deployment<br>Services Web サービス用のアダプターの構成 . . . . . | 12 |
| Adapter for SPSS Statistics の設定 . . . . .   | 12 |
| トラブルシューティング . . . . .   | 12 |



---

# IBM SPSS Modeler Server Adapter のインストール

---

## IBM SPSS Modeler Server Adapter のインストールの概要

本書では、IBM® SPSS® Modeler Server Adapter インストール・メディアから利用できる、製品に関連するインストール手順および情報について説明します。

アダプターにより、IBM SPSS Modeler および IBM SPSS Modeler Server が、IBM SPSS Collaboration and Deployment Services リポジトリと対話できるようになります。詳しくは、「*IBM SPSS Modeler ユーザーズ・ガイド*」を参照してください。

---

## システム要件

アダプターをインストールする前に、完全に機能する IBM SPSS Collaboration and Deployment Services リポジトリに接続できるようになります。システム要件は、該当するリポジトリ・バージョンの『インストールおよび構成ガイド』を参照してください。ジョブを実行し、ユーザーの役割を管理するために、Kerberos 資格情報がサポートされます。

IBM Installation Manager 1.6.2 は、アダプターをインストールするマシンにインストールし、インストール・ファイルを使用するように構成する必要があります。次のセクションを参照してください。

注: アダプタをインストールして実行すると、リポジトリ ホストのリソース (特に重要なのはメモリ) が追加で消費されます。インストールの前に、選択したアプリケーション・サーバー用に十分なメモリがあることを確認するためにアプリケーション・サーバーのマニュアルを参照することをお勧めします。

リポジトリ・サーバーには、PATH 環境変数または JAVA\_HOME 環境変数に、有効な Java ランタイム環境 (JRE) がセットアップされていることが必要です。セットアップされていない場合、インストールは失敗します。

インストールの開始前に、十分な空きディスク容量があることを確認してください。最小でも 10 GB が推奨されています。このインストールは 7.x バージョンのアダプタを対象としており、IBM Installation Manager を使用してすべてのアダプタを同時にインストールします。そのため、以前のリリースよりもインストールに時間がかかる可能性があります。

このアダプタを IBM SPSS Modeler Entity Analytics と共に使用する場合は、アダプタをインストールするマシンに Microsoft Visual C++ 2010 ランタイム ライブラリもインストールする必要があります。

---

## インストール・ファイル

インストールを行う前に、インストール・ファイルを入手する必要があります。

インストール・ファイルを入手するには、以下のいずれかを実行します。

- 物理メディアにアクセスして、ローカル・インストールを実行する: 製品メディア上の製品リポジトリにアクセスできます。Installation Manager を使用して、メディア上の製品リポジトリから製品をインストールします。

- Passport Advantage サイトからファイルをダウンロードして、ローカル・インストールを実行する: Passport Advantage の ID とパスワードを所有するライセンス付与ユーザーは、Passport Advantage サイトから必要な製品リポジトリをダウンロードできます。
- 稼働中のリポジトリにアクセスして、Web ベースのインストールを実行する: Passport Advantage の ID とパスワードを所有している場合は、Installation Manager を使用して、IBM がホストしているリポジトリから直接製品をインストールできます。

## Installation Manager の使用開始

製品のインストール、更新、アンインストールは、IBM Installation Manager を使用してウィザード・モード、コンソール・モード、またはサイレント・モードで行うことができます。ただし、これらのタスクを実行する前に、IBM Installation Manager リポジトリ設定または Passport Advantage 設定を構成しておく必要があります。

Installation Manager について詳しくは、IBM Installation Manager の資料を参照してください。

### ウィザード・モード

ウィザード・モードでは、Installation Manager をグラフィカル・ユーザー・インターフェースから実行します。

通常は、ご使用のバージョンの Installation Manager と共にインストールされたデフォルトのショートカットを使用して、Installation Manager を開始します。

Installation Manager をインストールした場所から、IBMIM アプリケーション・ファイルを実行して、ウィザード・モードで手動で開始できます。

オペレーティング・システムでの IBMIM のデフォルトの場所は、インストール・タイプ (管理者、非管理者、またはグループ) に応じて異なります。

表 1. IBMIM のデフォルトのインストール場所

| オペレーティング・システム                   | 管理者   | 非管理者   | グループ   |
|---------------------------------|---|--|--|
| Windows 2008および<br>Windows 2012 | C:\Program Files<br>[(x86)]\IBM\Installation<br>Manager\eclipse | C:\Users\user\IBM\<br>Installation<br>Manager\eclipse        |  |
| Linux および UNIX                  | /opt/IBM/<br>InstallationManager/<br>eclipse                    | /user_home_directory/IBM/<br>InstallationManager/<br>eclipse | /user_home_directory/IBM/<br>InstallationManager_Group/<br>eclipse |

### コンソール・モード

グラフィック表示デバイスを使用できない場合や、グラフィカル・ユーザー・インターフェースを使用せずに Installation Manager を実行する場合は、コンソール・モードを使用します。Installation Manager は、コンソール・モードと呼ばれる ASCII テキスト・ベース・モードでのインストールをサポートしています。コンソール・モードは、Installation Manager に対する対話式のテキスト・ベースのユーザー・インターフェースです。例えば、グラフィカル・ユーザー・インターフェースがない場合のサーバー・サイドでの展開や、リモート・ホストからのインストールの実行に、コンソール・モードを使用します。

コンソール・モードを開始するには、以下の手順を実行します。

1. コマンド・ラインを開きます。
2. tools サブディレクトリーに移動します。
3. オペレーティング・システムに応じて、次のコマンドを実行します。
  - Windows の場合: `imcl.exe -c`
  - Linux、UNIX の場合: `./imcl -c`

tools のデフォルトの場所は、オペレーティング・システムおよびインストール・タイプ (管理者、非管理者、またはグループ) に応じて異なります。詳細については、Installation Manager 資料を参照してください。

表 2. tools サブディレクトリーのデフォルトのインストール場所

| オペレーティング・システム                   | 管理者  | 非管理者   | グループ   |
|---------------------------------|--|--|--|
| Windows 2008および<br>Windows 2012 | C:\Program Files<br>[(x86)]\IBM\Installation<br>Manager\ eclipse\tools | C:\Users\user\IBM\<br>Installation<br>Manager\ eclipse\tools       |  |
| Linux および UNIX                  | /opt/IBM/<br>InstallationManager/<br>eclipse/tools                     | /user_home_directory/IBM/<br>InstallationManager/<br>eclipse/tools | /user_home_directory/IBM/<br>InstallationManager_Group/<br>eclipse/tools |

## サイレント・モード

複数のシステム、または単一のエンタープライズにソフトウェアを展開するには、サイレント・インストールを使用します。サイレント・インストールは、応答ファイルによって定義され、コマンド・ラインまたはバッチ・ファイルから開始します。応答ファイルは、製品配布に付属しています。詳しくは、11 ページの『応答ファイルを使用したサイレント・インストール』を参照してください。

## リポジトリーの設定

IBM Installation Manager のリポジトリーは、パッケージのインストール、変更、ロールバック、または更新を行うためのデータを保管する場所です。

パッケージのインストール、変更、または更新を行う場合は、事前に管理者または IBM から、インストール・リポジトリーの場所を入手してください。

注: インストール・リポジトリーに正常にアクセスするためには、リポジトリーの場所のパスにアンパーサンド (&) を含めてはなりません。

以下のトピックでは、リポジトリーの設定をウィザード・モードおよびコンソール・モードで行う場合の手順について説明します。

### ウィザード・モードでのリポジトリー設定の実行

ウィザード・モードを使用して、リポジトリーを追加、編集、または削除したり、リポジトリー・テーブル内のリポジトリーの順序を変更したりできます。

### このタスクについて

リポジトリーの資格情報をクリアしたり、リポジトリーへの接続をテストしたりすることができます。diskTag.inf ファイルと repository.config ファイルの両方が IBM 製品インストール・ファイル内にある場合があります。リポジトリーの場所を選択する場合は、diskTag.inf ファイルを使用してください。

## 手順

リポジトリの場所を追加、編集、または削除するには、以下の手順を実行します。

1. IBMIM を使用して、Installation Manager をウィザード・モードで開始します。詳しくは、2 ページの『Installation Manager の使用開始』を参照してください。
2. 「ファイル」 > 「設定」 > 「リポジトリ」をクリックします。「リポジトリ」ページが開き、使用可能なリポジトリ、リポジトリの場所、およびリポジトリの接続状況が表示されます。
3. 「リポジトリの追加」をクリックします。
4. リポジトリの場所を入力するか、または「参照」をクリックします。参照する場合は、リポジトリの場所に移動し、ご使用の環境に応じて diskTag.inf ファイル、repository.config ファイル、.zip ファイル、または .jar ファイルを選択します。
5. 「OK」をクリックします。

HTTPS または制限付き FTP のリポジトリの場所を指定した場合は、ユーザー ID とパスワードの入力を求めるプロンプトが出されます。新しいリポジトリの場所がリストに追加されます。リポジトリに接続していない場合は、「接続」列に赤色のボックスが表示されます。

6. オプション: 「インストール中および更新中にサービス・リポジトリの検索」を選択します。Installation Manager は、IBM.com のサービス・リポジトリでインストール済みパッケージの更新を検索します。
7. 「OK」をクリックして、「設定」ページを閉じます。

## コンソール・モードでのリポジトリ設定の実行

コンソール・モードを使用して、リポジトリの追加、削除、オープン、移動、またはクローズを行うことができます。

### このタスクについて

選択されているオプションは大括弧で囲まれた X ([X]) で示されます。選択されていないオプションは、空の大括弧 ([ ]) で示されます。Enter キーを押してデフォルトの項目を選択することも、異なるコマンドを選択することもできます。例えば、[N] は、デフォルトの選択が「N」 (Next コマンド) であることを示します。

## 手順

リポジトリを追加するには、以下の手順を実行します。

1. imcl -c を使用して、コンソール・モードで Installation Manager を開始します。詳しくは、2 ページの『Installation Manager の使用開始』を参照してください。
2. 「P」 (「P: 設定」) を入力します。
3. 「1」 (「1: リポジトリ」) を入力します。
4. 「D」 (「D: リポジトリの追加」) を入力します。
5. リポジトリの場所 (C:¥installation\_files¥repository.config など) を入力します。資格情報を必要とするリポジトリを追加した場合は、必要な資格情報の入力を求めるプロンプトが出されます。

リポジトリの場所を入力する際には、大/小文字を正しく使用してください。大/小文字を正しく使用しないと、インストール対象として選択可能なパッケージのリストにそのパッケージが表示されません。

- a. 「P」 (「P: 資格情報を指定して接続する」) を入力します。



- b. `user_name` を入力して **Enter** キーを押します。
  - c. `password` を入力して **Enter** キーを押します。
  - d. 「1」を入力してパスワードを保存します。
  - e. 「0」（「O: OK」）を入力します。
6. 「A」（「A: 変更を適用して「設定」メニューに戻る」）を入力します。
  7. 「R」（「R: メインメニューに戻る」）を入力します。

## Passport Advantage の設定

IBM Installation Manager は、Passport Advantage® からインストール・パッケージにアクセスできます。Passport Advantage は、IBM ソフトウェア製品を入手するための一元化されたオンライン・ロケーションです。

パッケージのインストール、変更、または更新を行う前に、Passport Advantage の有効な資格情報を取得してください。

以下のトピックでは、Passport Advantage の設定をウィザード・モードおよびコンソール・モードで行う場合の手順について説明します。

### ウィザード・モードでの Passport Advantage 設定の実行

ウィザード・モードで、Installation Manager Passport Advantage 設定を行い、Passport Advantage に接続できます。

#### このタスクについて

**重要:** Installation Manager のインスタンスを他のユーザーと共有する場合は、管理者、非管理者、またはグループとしてのインストールに関して、「Installation Manager の資料」を参照してください。

#### 手順

Passport Advantage 設定を行うには、以下の手順を実行します。

1. IBMIM を使用して、Installation Manager をウィザード・モードで開始します。詳しくは、2 ページの『Installation Manager の使用開始』を参照してください。
2. 「ファイル」 > 「設定」 > 「Passport Advantage」をクリックします。
3. 「Passport Advantage へ接続」チェック・ボックスを選択して、Passport Advantage リポジトリに接続します。「パスワードが必要です」ウィンドウが開きます。
4. Passport Advantage のユーザー名とパスワードを入力します。
5. オプション: 「パスワードの保存」を選択して、ユーザー名とパスワード資格情報を保存します。

ユーザー名およびパスワード資格情報を保存しない場合は、Passport Advantage にアクセスするたびに、これらの資格情報の入力を求めるプロンプトが出されます。

6. 「OK」をクリックして、「パスワードが必要です」ウィンドウを閉じます。
7. 「OK」をクリックして「設定」ウィンドウを閉じます。

#### 次のタスク

保存されたユーザー名およびパスワード資格情報を削除するには、以下の手順を実行します。

1. 「ファイル」 > 「設定」 > 「Passport Advantage」をクリックします。

2. 「資格情報のクリア」をクリックします。
3. 「資格情報のクリアの確認」ウィンドウで、「OK」をクリックします。

## コンソール・モードでの Passport Advantage 設定の実行

コンソール・モードで、Installation Manager Passport Advantage 設定を行い、Passport Advantage に接続できます。

### 手順

1. `imcl -c` を使用して、コンソール・モードで Installation Manager を開始します。詳しくは、2 ページの『Installation Manager の使用開始』を参照してください。
2. 「P」 (「P: 設定」) を入力します。
3. 「6」 (「6: Passport Advantage」) を入力します。
4. 「1」 (「1: Passport Advantage へ接続」) を入力します。 選択されているオプションは大括弧で囲まれた X ([X]) で示されます。
5. 「P」 (「P: 資格情報を指定して接続する」) を入力します。
6. Passport Advantage アカウント用のユーザー名を入力します。
7. パスワードを入力します。

ユーザー名およびパスワード資格情報を保存しない場合は、Passport Advantage にアクセスするたびに、これらの資格情報の入力を求めるプロンプトが出されます。

- a. オプション: パスワードを入力した場合は、「1」 (「1: パスワードを保存する (有効な場合)」) を入力します。
8. 「O」 (「O: OK」) を入力して資格情報を保存します。

---

## IBM SPSS Modeler Adapter のインストール

IBM SPSS Modeler Adapter は、ウィザード・モード、コンソール・モード、またはサイレント・モードでインストールできます。

インストールの開始前に IBM SPSS Collaboration and Deployment Services サーバーをシャットダウンし、アプリケーション サーバーが以下の状態になっていることを確認してください。

- **IBM WebSphere スタンドアロン:** サーバーは停止している必要があります。
- **IBM WebSphere 管理対象:** 管理対象サーバーは停止している必要があります、Deployment Manager サーバーは稼働している必要があります。
- **IBM WebSphere クラスタ:** クラスタ メンバーは停止している必要があります、Deployment Manager サーバーは稼働している必要があります。
- **JBoss:** サーバーは停止している必要があります。
- **Oracle WebLogic スタンドアロン:** サーバーは停止している必要があります。
- **Oracle WebLogic 管理対象:** 管理対象サーバーは停止している必要があります、WebLogic 管理サーバーは稼働している必要があります。
- **Oracle WebLogic クラスタ:** クラスタ メンバーは停止している必要があります、WebLogic 管理サーバーは稼働している必要があります。

## ウィザード・モードでのインストール

IBM Installation Manager をウィザード・モードで使用して、IBM SPSS Modeler Adapter をインストールできます。

### 始める前に

インストールするには、パッケージが含まれているリポジトリに IBM Installation Manager がアクセスできる必要があります。インストールの開始前に、アプリケーション・サーバーおよび IBM SPSS Collaboration and Deployment Services サーバーのシャットダウンも実行する必要があります。

- IBM Passport Advantage アカウントを所有している場合は、Passport Advantage サイトからパッケージをインストールできます。Passport Advantage リポジトリへの接続について詳しくは、5 ページの『ウィザード・モードでの Passport Advantage 設定の実行』を参照してください。
- Passport Advantage サイトにないリポジトリからインストールを行う場合は、インストールの前に設定で対象リポジトリを指定しておく必要があります。詳しくは、3 ページの『ウィザード・モードでのリポジトリ設定の実行』を参照してください。

### 手順

IBM SPSS Modeler Adapter をインストールするには、次の手順を実行します。

1. IBMIM を使用して、Installation Manager をウィザード・モードで開始します。詳しくは、2 ページの『Installation Manager の使用開始』を参照してください。
2. Installation Manager で、「インストール」をクリックします。Installation Manager は、使用可能なパッケージの定義済みリポジトリを検索します。使用可能なパッケージが見つからない場合は、リポジトリが正しく指定されていることを確認します。3 ページの『ウィザード・モードでのリポジトリ設定の実行』を参照してください。
3. Installation Manager の新しいバージョンが検出されると、インストールの確認を求めるプロンプトが出されることがあります。「はい」をクリックして続行します。Installation Manager は、自動的に新しいバージョンのインストール、再始動、および再開を実行します。
4. Installation Manager の「インストール」ページに、Installation Manager が検索したリポジトリで検出されたすべてのパッケージがリストされます。最新バージョンのパッケージのみが表示されます。Installation Manager で検出されたすべてのバージョンのパッケージを表示するには、「すべてのバージョンの表示」を選択します。パッケージ・バージョンをクリックすると、「詳細」ペインにパッケージの説明が表示されます。パッケージに関する追加情報がある場合は、説明テキストの終わりに「詳細情報」リンクがあります。

Installation Manager をグループ・モードで実行している場合は、グループ・モードでのインストールに対応したパッケージのみをインストールすることができます。グループ・モードでのインストールに対応していないパッケージの場合にはエラーが表示され、そのパッケージのインストールをグループ・モードで続行することはできません。

5. IBM SPSS Modeler Adapter パッケージを選択します。「次へ」をクリックします。
6. 「ライセンス」ページで、選択したパッケージの使用条件を確認します。使用条件に同意した後、「次へ」をクリックして続行します。
7. 「場所」ページで、「共有リソース・ディレクトリー」フィールドに共有リソース・ディレクトリーのパスを入力します。共有リソース・ディレクトリーには、複数のパッケージ・グループが共有できるリソースが含まれています。「次へ」をクリックします。

**重要:** 共有リソース・ディレクトリーを指定できるのは、パッケージの初回インストール時のみです。今後のパッケージの共有リソース用に十分なスペースを確保できるよう、十分な使用可能スペースがあるドライブを選択してください。すべてのパッケージをアンインストールしない限り、共有リソース・ディレクトリーの場所を変更することはできません。

8. 「場所」 ページで、パッケージのインストール先のパッケージ グループを選択するか、パッケージ グループを作成します。 パッケージ・グループは、パッケージが同じグループ内の他のパッケージと共有するリソースを含むディレクトリーです。パッケージの初回インストール時に、パッケージ・グループを作成する必要があります。インストールするパッケージを複数個選択する場合は、パッケージの資料を参照して、それらのパッケージが同じパッケージ・グループにインストールできることを確認してください。同じパッケージ・グループにインストールできないパッケージについては、1 つのパッケージ・グループに 1 つのパッケージをインストールします。インストールが完了したら、別のパッケージ・グループに 2 番目のパッケージをインストールします。

| オプション            | 説明   |
|------------------|--|
| 既存のパッケージ グループの使用 | パッケージのインストール先のパッケージ グループを選択します。インストール対象のパッケージと選択したグループとの間に互換性がない場合は、アラートで競合が報告されます。グループに互換性がない場合は、別のグループを選択するか、新しいグループを作成してください。 |
| 新規パッケージ グループの作成  | 「参照」をクリックして、パッケージのインストール ディレクトリーを指定します。64 ビット オペレーティングシステムにインストールする場合は、32 ビットまたは 64 ビットのいずれかとしてインストールのアーキテクチャを選択してください。          |

「次へ」 をクリックしてインストールを続けます。

9. 次の「場所」 ページで、パッケージ・グループのパッケージにインストールする翻訳を選択します。グラフィカル・ユーザー・インターフェースおよび文書について、対応する言語翻訳がインストールされます。選択内容は、このパッケージ・グループにインストールされているすべてのパッケージに適用されます。このオプションは、製品インストールのすべてには適用されない場合があります。「次へ」 をクリックして続行します。
10. 「機能」 ページで、インストールするパッケージ機能を選択します。
  - a. オプション: 機能間の依存関係を表示するには、「**依存関係の表示**」を選択します。
  - b. オプション: 機能をクリックすると、その簡単な説明が「**詳細**」の下に表示されます。
  - c. パッケージ内の機能を選択またはクリアします。Installation Manager は、他の機能との依存関係を自動的に適用し、インストール用に更新されたダウンロード・サイズおよびディスク・スペースの要件を表示します。パッケージに選択されているデフォルト機能に戻すには、「**デフォルトの復元**」をクリックします。
11. 機能の選択が終了したら、「次へ」 をクリックします。
12. パッケージをインストールする前に「要約」 ページで選択項目を確認します。

Windows では、Installation Manager が、実行中のプロセスを検査します。プロセスがインストールを妨げている場合、そのプロセスのリストが「**ブロッキング・プロセス**」セクションに表示されます。インストールを続行するには、このようなプロセスを停止する必要があります。「**ブロッキング・プロセスをすべて停止**」 をクリックします。停止する必要があるプロセスが存在しない場合、このリストは表示されません。実行中のプロセスは、Installation Manager によってアクセスまたは変更される必要があるファイルをロックしています。

13. 「インストール」をクリックします。インストール・プロセスが完了すると、確認メッセージが表示されます。

## コンソール・モードでのインストール

IBM Installation Manager をコンソール・モードで使用して、IBM SPSS Modeler Adapter をインストールできます。

### 始める前に

インストールするには、パッケージが含まれているリポジトリに Installation Manager がアクセスできる必要があります。インストールの開始前に、アプリケーション・サーバーおよび IBM SPSS Collaboration and Deployment Services サーバーのシャットダウンも実行する必要があります。

- IBM Passport Advantage アカウントを所有している場合は、Passport Advantage サイトからパッケージをインストールできます。Passport Advantage リポジトリへの接続については、6 ページの『コンソール・モードでの Passport Advantage 設定の実行』を参照してください。
- Passport Advantage サイトにないリポジトリからインストールを行う場合は、インストールの前に設定で対象リポジトリを指定しておく必要があります。詳しくは、4 ページの『コンソール・モードでのリポジトリ設定の実行』を参照してください。

### 手順

コンソール・モードでインストールするには、以下の手順を実行します。

1. `imcl -c` を使用して、コンソール・モードで Installation Manager を開始します。

`imcl` のデフォルトの場所は、オペレーティング・システムおよびインストール・タイプ (管理者、非管理者、またはグループ) に応じて異なります。詳しくは、2 ページの『Installation Manager の使用開始』を参照してください。

2. 「1」 (「1: インストール - ソフトウェア・パッケージをインストールします」) を入力します。インストール可能なパッケージがリストされます。

資格情報が必要なリポジトリがあり、その資格情報が保存されていない場合は、資格情報の入力を求めるプロンプトが出されます。

3. 「1」 (「1: [ ] *package\_name*」) を入力します。パッケージを選択するには、パッケージの横にある番号を入力します。この例では、リスト内の最初のパッケージを選択しています。選択したパッケージにおいて Installation Manager の新しいバージョンが必要な場合は、その新しいバージョンをインストールすることを求めるプロンプトが出されます。
4. 「選択」画面で、インストールするパッケージの横にある番号を入力します。

- **1:** インストールするバージョン *package\_version* を選択してください。このオプションは、インストール対象として選択されていないパッケージを選択した場合に表示されます。

インストール対象として選択されているパッケージを選択した場合は、オプション「1」 (「1: バージョン *package\_version* をインストールしないでください」) が表示されます。

- **2:** パッケージの使用可能なバージョンをすべて表示します。

5. オプション: 「0」 (「0: 他のバージョン、フィックス、および拡張機能の確認」) を入力します。Installation Manager は、使用可能なリポジトリを調べて、選択したパッケージの他のバージョン、フィックス、または拡張機能を検索します。

- インストール済みパッケージのデフォルトのリポジトリを Installation Manager に検索させるには、設定「インストール中および更新中にサービス・リポジトリの検索」を選択する必要があります。デフォルトではこの設定が選択されます。この設定にアクセスするには、「リポジトリ」設定ページに移動してください。
  - 通常は、インターネット・アクセスが必要です。
  - 「他のバージョン、フィックス、および拡張機能の確認」オプションでは、見つかった他のバージョン、フィックスまたは拡張機能の数が示されますが、見つかった項目のリストは表示されません。使用可能なバージョンを表示するには、パッケージの横にある番号を入力してから、「2」（「2: パッケージの使用可能なバージョンをすべて表示します」）を入力してください。
6. 「N」（「N: 次へ」）を入力します。
  7. 「ライセンス」画面のオプションは次のとおりです。
    - **1:** *product\_name* - ご使用条件。使用条件を確認するには、製品名の横にある番号を入力します。この例では、リスト内の最初の使用条件を選択しています。
    - **A:**  使用条件の条項に同意します。
    - **D:**  使用条件の条項に同意しません。使用条件に同意しない場合、インストールは停止します。インストールを続行するには、使用条件に同意する必要があります。
    - a. 「A」を入力して、使用条件に同意します。
    - b. 「N」（「N: 次へ」）を入力します。
  8. 共有リソース・ディレクトリに別の値を入力するには、「M」（「M: 共有リソース・ディレクトリ」）を入力します。共有リソース・ディレクトリのデフォルト値を受け入れるか、または別の値を入力してから続行するには、「N」（「N: 次へ」）を入力します。

**重要:** 共有リソース・ディレクトリを指定できるのは、パッケージの初回インストール時のみです。今後のパッケージの共有リソース用に十分なスペースを確保できるよう、十分な使用可能スペースがあるドライブを選択してください。すべてのパッケージをアンインストールしない限り、共有リソース・ディレクトリの場所を変更することはできません。

9. オプション: パッケージ・グループの場所に別の値を入力するには、「M」（「M: ロケーションの変更」）を入力します。デフォルト値を受け入れるか、または別の値を入力してから続行するには、「N」（「N: 次へ」）を入力します。

パッケージ・グループは、パッケージが同じグループ内の他のパッケージと共有するリソースを含むディレクトリです。パッケージの初回インストール時に、パッケージ・グループを作成する必要があります。インストールするパッケージを複数個選択する場合は、パッケージの資料を参照して、それらのパッケージが同じパッケージ・グループにインストールできることを確認してください。同じパッケージ・グループにインストールできないパッケージについては、1つのパッケージ・グループに1つのパッケージをインストールします。インストールが完了したら、別のパッケージ・グループに2番目のパッケージをインストールします。

10. インストール対象の言語のリストで言語を追加または削除するには、言語の横にある番号を入力します。一度に選択できるのは1つの言語のみです。「N」（「N: 次へ」）を入力します。デフォルトでは、英語が選択されています。英語の選択をクリアすることはできません。選択した言語は、パッケージ・グループにインストールされているすべてのパッケージに適用されます。
11. インストール対象の機能のリストで機能を追加または削除するには、機能の横にある番号を入力します。「N」（「N: 次へ」）を入力します。製品に使用可能な機能がない場合、この画面は表示されません。
12. パッケージをインストールする前に、「要約」画面で選択した項目を確認します。

オプション: 応答ファイルを作成するには、「G」（「G: インストール応答ファイルの生成」）を入力します。応答ファイルの名前を入力します。ファイル拡張子には .xml を使用します。応答ファイルは、XML ファイルです。応答ファイル名を入力する際にディレクトリーの場所を含めることにより、そのファイルを別の場所に保存することができます。

13. 「I」（「I: インストール」）を入力します。
14. インストールが完了したら、「F」（「F: 終了」）を入力します。

## 応答ファイルを使用したサイレント・インストール

応答ファイルを使用してサイレント モードでインストールできます。

### 始める前に

インストール・パッケージに付属している応答ファイル `SilentInstallOptions` を見つけます。また、インストールの開始前に、アプリケーション サーバーおよび IBM SPSS Collaboration and Deployment Services サーバーをシャットダウンする必要もあります。

### 手順

パッケージをサイレント・モードでインストールするには、以下の手順を実行します。

`imcl` コマンドを実行します。

- Windows の場合: `imcl.exe input response_file -log log_file`
- Linux および UNIX の場合: `./imcl input response_file -log log_file`

`imcl` のデフォルトの場所は、オペレーティング・システムおよびインストール・タイプ (管理者、非管理者、またはグループ) に応じて異なります。詳しくは、2 ページの『Installation Manager の使用開始』を参照してください。

### タスクの結果

インストールが完了すると、ステータス `0` が返されます。インストールが完了できなかった場合は、ゼロ以外の数字が返されます。

ログ・ファイルが使用可能です。詳細については、Installation Manager 資料を参照してください。

### 例

表 3. オペレーティング・システム別のインストール・コマンド

| オペレーティング・システム | コマンド   |
|---------------|--|
| Windows       | <code>imcl.exe input c:%response_files%install.xml -log c:%mylog%install_log.xml -acceptLicense</code> |
| Linux、UNIX    | <code>./imcl input /response_files/install.xml -log /mylog/install_log.xml -acceptLicense</code>       |

スペースを含むファイル・パスは、二重引用符で囲みます。

---

## Linux での IBM SPSS Collaboration and Deployment Services Web サービス用のアダプターの構成

Linux で SPSS Modeler に関連する IBM SPSS Collaboration and Deployment Services Web サービスの自動化を実行中に、次のエラーが表示される場合があります。

```
java.io.IOException: Too many open files
```

これが発生した場合は、次のコマンドを入力して、Linux サーバーでのオープン・ファイルの最大数を増やしてください。

```
ulimit -n value
```

ここで、*value* は、開くことができるファイルの数です。この値は、なるべく高く設定する必要があり、ストリーム・ファイル内のノードの数に依存します。デフォルトは 1024 で、推奨値は 100000 です。

---

## Adapter for SPSS Statistics の設定

IBM SPSS Collaboration and Deployment Services を使用して SPSS Statistics 統合ノード (Statistics Transform、Statistics Model、および Statistics Output) を含む SPSS Modeler ストリームをスコアリングする場合は、アダプターをインストールした後で、次の手順を実行します。

1. リポジトリ・ホストで、`/components/modeler/bin` フォルダーに移動します。
2. `statisticsutility` ツールを使用して、SPSS Statistics Server と連携して動作するようにアダプターを設定します。詳しくは、「*IBM SPSS Modeler* 入力ノード、プロセス・ノード、出力ノード」ガイドで、IBM SPSS Statistics ヘルパー・アプリケーションについてのセクションを参照してください。

---

## トラブルシューティング

### IBM Installation Manager バージョン

インストールには、IBM Installation Manager バージョン **1.6.2** が必要です。

### 空きディスク容量

十分な空きディスク容量がない場合、インストールは失敗します。最小でも 10 GB が推奨されています。

### インストールの失敗

アダプターが正しく機能していないにもかかわらず、IBM Installation Manager からインストールが正常に実行されたと報告される場合があります。インストールは、インストール・プロセスと構成 プロセスから構成されています。場合によっては、インストール・プロセスは正常に実行されたが、構成プロセスが失敗することがあります。続行する前に、インストール全体が正常に実行されたことを確認してください。







Printed in Japan